

# RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータのネットワークへの接続

## 目的

ワイドエリアネットワーク(WAN)を使用すると、ローカルエリアネットワーク(LAN)デバイスはLANの外部にあるネットワークデバイスにアクセスできます。WAN接続は、モデムなどのネットワークデバイスを使用して、インターネットサービスプロバイダー(ISP)によって提供されます。ルータを使用すると、複数のデバイスを1つのモデムに接続して、1つのWAN接続を提供できます。RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータは、2つのインターネット接続を可能にする少なくとも2つのデュアルWANポートを備えています。RV016 VPNルータには5つの設定可能なWANポートがあり、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータには2つの設定可能なWANポートがあります。設定可能な複数のWANポートにより、デバイスはポート間でネットワーク負荷のバランスを取り、ネットワーク効率を向上させることができます。また、複数のWANポートでフェールオーバーを提供できます。一方のWANポートに障害が発生すると、もう一方のWANポートが引き継ぎます。WANポートの1つを非武装地帯(DMZ)ファイアウォールとして設定することもできます。DMZは、信頼できないトラフィックを特定のネットワークデバイスに転送します。つまり、DMZはファイアウォールによって保護されません。

この記事では、デバイスのWANポートをインターネットなどのWANに接続する方法について説明します。

## 適用可能なデバイス

- ・ RV016
- ・ RV042
- ・ RV042G
- ・ RV082

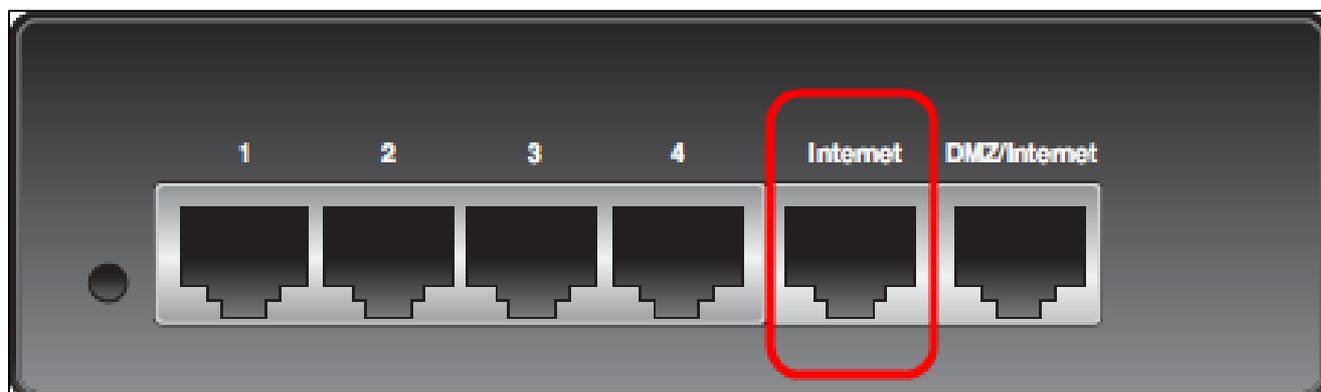
## [Software Version]

- ・ v4.2.2.08

## ルータのネットワークへの接続

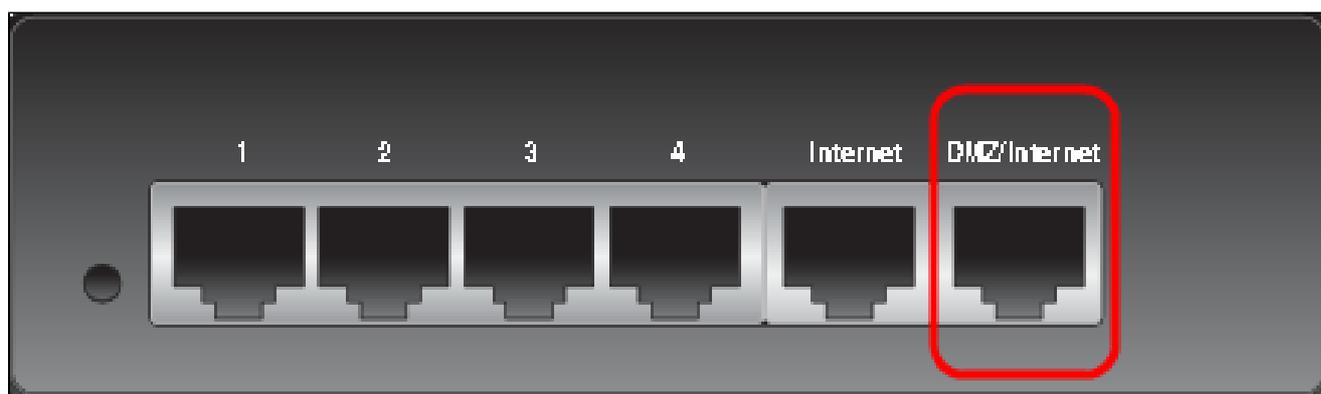
ステップ 1：すべてのネットワークデバイスの電源をオフにします。これには、すべてのルータ、PC、イーサネットスイッチ、およびモデムが含まれます。

ステップ 2：ルータをインターネットに接続するには、イーサネットケーブルの一方の端をルータのインターネットポートに接続します。イーサネットケーブルのもう一方の端を、ISPから提供されるモデムなどのネットワークデバイスに接続します。



注：上の図はRV042G VPNルータの背面です。該当するデバイスの見出しの下にリストされている他のすべてのルータは、外観は異なりますが、インターネットおよびDMZ/インターネットポートは維持されます。

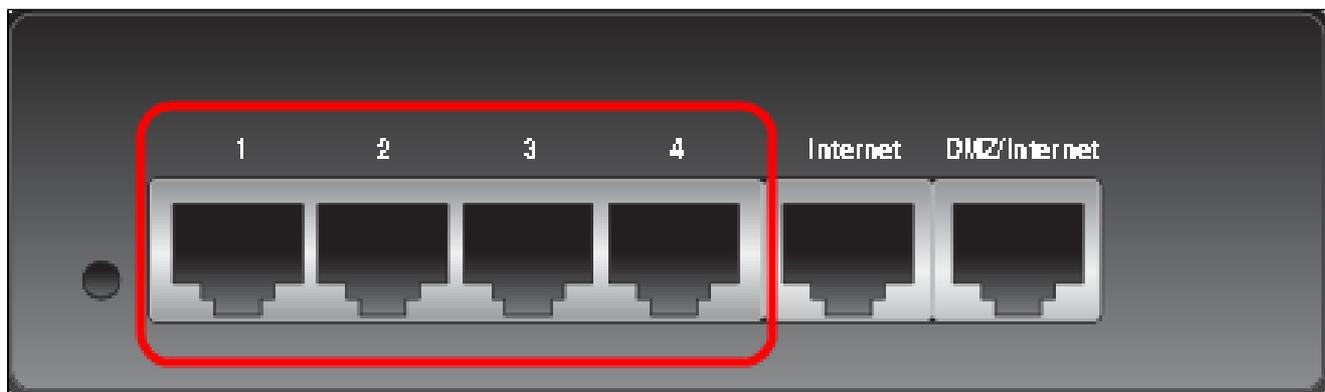
ステップ3: ( オプション ) ルータをセカンダリISPに接続するには、イーサネットケーブルの一方の端をルータのDMZ/インターネットポートに接続します。イーサネットケーブルのもう一方の端を、ISPから提供されるモデムなどのネットワークデバイスに接続します。



注：セカンダリISPを使用するには、ISPから2つ目のIPアドレスが必要です。ルータの2番目のWANポートまたはDMZ/インターネットポートは、DMZポートまたはセカンダリISPポートとして設定できます。セカンダリWANポートのデフォルト設定はISP接続です。この設定を変更するには、Web設定ユーティリティにログインし、WAN設定を編集します。

ステップ 4：イーサネットネットワークケーブルの一方の端をルータの番号付きLANポートに接続し、もう一方の端をデバイスに接続して接続を確立します。ルータの番号付きLANポ

ートを設定し、コンピュータやイーサネットスイッチなどのデバイスの接続に使用できます。  
。



ステップ 5 : すべてのネットワークデバイスの電源をオンにします。ルータはWANポートを介してインターネットに接続できる状態です。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。